

会員のひろば

■ 故郷と趣味(第二の故郷で)

精華台四丁目 奥村博和



田園が広がり、山や川、海、湖のある自然に囲まれた田舎町で私は生まれ育った。農業、漁業等の手伝いはもとより、地元の芸術文化財等にも携わるなど様々な経験をしてきた。私はそんな故郷が大好きである。

当時の田舎町での生活は不便で、近くに学校施設や商業施設などはなく、鉄道、道路網も発達していなかった。そんな環境での移動手段は自転車やオートバイ中心で、自転車では片道10km前後、オートバイでは15～30kmの移動は常だった。高校時代に大型二輪・普通免許を取得して、通学のために毎日最寄り駅まで、オートバイ等を使用していた。休日には、近隣の林道等を自転車やオートバイで走行し、自然を満喫していた。

そんな田舎生活に終止符を打ち、就職で来阪した。生活環境のすべての面で便利さを手に入れたものの、業務多忙のため趣味の時間が取れない状況が10年くらい続いた。そこで自転車・オートバイ走行の趣味を実現するために住居を大阪府から奈良市に移して週末ごとに関西の国道(酷道)や林道等、自転車道を走破していた。

定年退職後にこの趣味(走行)に専念する決断をして精華町に移り住んだ。趣味の専念が可能になった。今は体力・気力が追いつかず、出かける機会も急激に減少している。それでも自分の体力を考慮して月に1、2回のペースで、近隣の国道(酷道)や林道等の走行を楽しんでいる。余った時間はシルバーの就業に充て、ほかの会員との交流をしている。

精華町的生活環境は故郷とよく似ており、山あり、川あり、田園風景も豊富で自転車道もある。自然の中に飛び込める環境が大好きで、第二の故郷にやっとたどり着いたと感じている。自然の残るこの町を第二の故郷として、趣味の自転車・オートバイでの走行を体力・気力と相談しながら続けていこうと誓う今日この頃の私である。

ちなみに、私の故郷は北陸地方の大物歌手の出身地と同じ町です。

■ 「青春18きっぷ」の旅

精華台二丁目 安在數清



私がJR「青春18きっぷ」の旅を始めたのは今から15年前くらいです。「青春18きっぷ」は、1枚の切符で、1人で5回分、また5人で利用すれば1回分で11,850円 1人1回 2,370円(現在は12,050円 1人1回2,410円)になります。1日(始発から終電)乗り放題です。新幹線・特急・急行は乗れません。乗れるのは普通列車(含む新快速等)だけです。

利用期間は以下のとおりです。

(1) 3月1日～4月10日 (2) 7月20日～9月10日 (3) 12月10～1月10日

私にとって「青春18きっぷ」の魅力は

①どこでも自由に乗車、降車できる ②乗車賃が安い ③素晴らしい景色に出合える(海岸すれすれを走っている。新幹線は山側) ④ゆっくり、のんびりできる ⑤自由気ままの旅ができるなどです。

私は、駅前にはそれなりのホテル・旅館等があるので、宿泊所は予約せずに旅をします。

九州、四国、山陽、山陰、近畿の旅が多いのですが、中部、石川、新潟にも足を延ばしました。日帰りであれば、祝園駅から倉敷、徳島、御坊、岐阜、尾鷲…観光しながら可能です。食料、水、酒、をリュックに詰め込み、時刻表と相談しながらの旅です。連絡時間が短く弁当、飲み物を買えないことも多々あります。また、発車時刻、ホームの変更、誤って降車等のトラブルも発生します。時刻を勘違いして、新幹線で帰ったこともあります(こんな場合は乗車券、特急券が必要です)。トイレはほとんどの列車内に完備されています。

「青春18きっぷ」で何度か熊本に帰省したこともありました。普通切符では11,380円かかりますが、「青春18きっぷ」では2,370円で帰れました。祝園発5:38→熊本着21:30(停車駅:180駅、乗換回数:8回)とかなり強行ですが、車窓にワクワク、のんびりした気分、車内での出会い等々楽しい旅です。戻りは、①九州を巡り、小倉からフェリー(19時頃発)で大阪南港へ(翌日8時頃着)②九州から山陽または山陰方面で一泊し、好きな駅で降りて帰途に着くなどを楽しみました。

旅は人生に大きな影響を与えて感じています。同年代らしきグループ(女性が多い)にもよく遭遇します。興味のある方は、ぜひ「青春18きっぷ」の旅にお出かけください。